



2 BELLE POT あしや

場所 市民センター2階(業平町8-24)

営業日 午前11時～午後5時30分・定休日:火曜日

TEL 61-7535

地域の声から生まれたカフェ

カフェレストラン「BELLE POT あしや」は、閉店した「キッチンカフェなりひら」に寄せられた「またここを開けてほしい」という地域の声を受け、一般社団法人ブランディング芦屋が立ち上げた地域交流の拠点です。

店では、減農薬米・有機コーヒーや兵庫県産の食材を取り入れ、手づくりの家庭的な料理を提供しています。店内にはキッズスペースもあり、子どもから高齢者まで三世代が自然に集える空間づくりに取り組んでいます。



お肉と魚が楽しめるランチ(1,100円)が人気



つとできる
居場所を。

「小さな楽しみ」を感じる、いきいきとした職場

スタッフは「お客さんとの会話が楽しい」「地域の役に立てることがうれしい」と、生きがいを感じながら働いています。また、行事食の提供や、季節を感じられる食材を取り入れた「食養生」を通して、お客さんとの会話を大切にしながら、日々温かな交流が生まれています。

食でつながる居場所

使用料は不要でどなたでもご利用できます。
ランチやケーキの注文が必要です。

店内では、音楽会や読み聞かせなど、市民主体のイベントも開催されています。偶然居合わせた人同士がつながる場にもなっており、「トライやる・ウィーク」の中学生参加等「BELLE POT あしや」は、食を通じて地域のつながりを育む、誰もが気軽に立ち寄れる居場所として親しまれています。



一般社団法人ブランディング芦屋代表
廣田さん

今月の表紙



参加者からは、「ここが自分の居場所」
「日々のモチベーションになっている」
との声も。

「BELLE POT あしや」で毎月第4木曜日に開かれている「みんなでつながるチクチクタイム」。手芸を楽しみながら、子育て中の保護者がほっと一息つける交流の場です。活動を始めたのは、3児の母でもある「ととのうラボAshiya」松井さん。自身も第一子の子育て中、「どこへ行けばいいかわからず、子どもと二人で家にいることが多かった」と振り返ります。

「ママが自分の時間を持てる場所をつくりたい」そんな思いから、芦屋市の補助金も活用し、「BELLE POT」と協力してキッズスペースを設置。地域のボランティア「抱っこ隊」が子どもを見守る間、参加者は手芸や会話を楽しめます。食事のできるため、「家に帰ってからお昼ご飯をつくらなくてよい」と好評です。

子育ての悩みや地域の情報交換だけでなく、多世代の交流も生まれています。高齢の来店客が自然に会話へ加わり、子育て経験をもとにアドバイスを送る場面も。子育て中でも気軽に来れる場所として、地域のつながりを育んでいます。



ととのうラボAshiya 松井さん(右)
金子さん(左)



おもちゃも充実したキッズスペース



店長さん

アトリエが隣接する小さなギャラリーのようなカフェ

緑に囲まれた文化ゾーン、美術博物館敷地内にたたずむ「カフェ・ド・ルポ」。隣接する小出檜重のアトリエとあわせて、ギャラリーのような落ち着いた空間が広がります。

店内には、開店時間に合わせて訪れる常連客の姿も。カウンター席では自然と会話が生まれ、お客さん同士が顔なじみになることもあります。

貸切営業やイベント利用は行わず、「誰もが気軽に立ち寄れる場所」を大切にしています。

また、美術博物館の企画展に合わせた限定メニューも人気。スタッフが展示の雰囲気や来館者層を意識しながらアイデアを出し合い、一つひとつ丁寧に考案しています。昔ながらの喫茶文化を大切にしながら、市民の居場所として愛され続けています。



赤い屋根が目印

4 カフェ・ド・ルポ

場所 美術博物館(伊勢町12-25)

営業日 午前10時～午後5時定休日:月曜日
(月曜が祝日の場合はその翌日)

TEL 35-2577